

Q 長野県小谷村からの見舞金を災害対策事業予算でどう使うのか。

A 小谷村から50万円、村議会と村職員会から25万円の合計75万円を台風19号に対する見舞金としていただいた。予算の積立金として計上し、想定し得る最大規模の浸水を反映させたハザードマップ作成費用に充当を予定。

Q 道路維持のための管理箇所が増える背景は。

A JRからの指摘で新幹線通行の支障となる箇所が1箇所増えた。道路では通行に支障をきたし、なおかつ緊急性の高いところから実施していく。草刈りは、これまで地域の方に協力していただいていたが、高齢化で難しくなっている。刈る範囲を減らしても地域の方の協力をお願いしたい。運搬費、処分費でコスト縮減ができないか考えていく。

Q 資源ギャラリーの大東・大須賀分受託収入が744万円の増。キロ当たりの単価が菊川市を下回らないルールで、なぜこの金額になるのか。

A 当初予算では平成30年度のごみを想定して分担金を算出。今回の補正では9月末時点での実績を加味し、来年3月までの予測を計算したことで差異が出た。負担金については、最終的に年度末3月31日をもって総量を確認し、その時点で大東・大須賀のごみ単価を菊川市が上回らないように再計算をして確定する。



環境資源ギャラリー

Q 園舎整備等補助費の補助率及び負担割合が変更された理由は。

A 市内法人による小規模保育事業開設にかかる施設整備に対する補助金で、国の保育対策総合支援事業費補助金を活用。事業者への補助率が対象事業費の3分の2から4分の3に改正され、これまで負担のなかった市に12分の1の負担が発生。待機児童の解消を図るために事業者の負担を減らしたのではないかと推測している。

Q 給食センターの機材の故障は、定期点検で見えないのか。

A 給食センターは平成14年5月から稼働し、年間約200日、1日約5千食の学校給食の副食を提供している。今年度に経年劣化と思われる機材の故障が40件発生し緊急修繕を実施。月15万円、年間約180万円を修繕料として予算計上し、施設の維持管理に対応しているが、蒸気

ボイラー機等の緊急な高額修繕への対応で不足が生じた。定期点検で能力の低下等の指摘を受けた以外に発生している。

Q 市体育館及び体育施設等指定管理料が5年間で約3億円。体育協会と株式会社オーチューのグループで管理しているが、予算と役割はどう分担しているのか。

A 指定管理者が行う業務は施設に係る利用承認、使用料の徴収、利用者及び来場者への対応、施設を使用した自主事業の実施、施設の維持管理等がある。役割分担は、オーチューが各施設の維持管理等を主に受け持ち、それ以外の業務を体育協会で担当。予算は、指定管理に係る項目毎に積算し、全体額を一括でグループに支出している。